

# やなけん！

台東区立谷中小学校 研究だより

第4号

令和4年 6月30日(金)  
台東区立谷中小学校  
研究推進委員会

**研究主題** よく考え工夫する児童の育成 ～体育科におけるICTの活用を通して～

## 第2回研究授業報告！

【日時】6月21日(火) 5校時 【対象】5年1組 26名

【授業者】亀田 孝之主幹教諭 【領域】マット運動

【単元名】「目指せ！マットの達人！」

本時のねらいは「マット運動に進んで取り組み、自分の課題を選んで活動する。」でした。研究主題に迫る手立てとしてベーシックタイム(感覚づくり)、マスタータイム(個人課題の練習)、コンボタイム(グループ演技の練習)という学習過程を設定したことで、児童が見通しをもって主体的に運動することができました。また、技ごとにマットとタブレットを設置し、タブレットで見本の動きを見て技のポイントを確認しながら技を練習する児童の姿もありました。



### 授業評価シートより

- ・児童が見通しをもって主体的に動いていた。
- ・タブレットでポイントを確認できたので児童が意欲的に技に取り組んでいた。
- ・学習過程の工夫で時間が区切られていたのでテンポが良かった。
- ・コロナ禍でマット運動の経験が少なかったため、基本的な技を身に付けるための時間(ベーシックタイムやマスタータイム)がもっと必要だと感じた。
- ・もっとマットがあれば・・・!
- ・マットの運び方の指導徹底が必要(全校共通)
- ・子供たちが声を掛け合っていて楽しく学習していた。

評価項目	平均値
1. 児童の運動量は十分に確保されていた。	3.818
2. 教師は場面展開をスムーズに行っていた。	4.636
3. 児童の移動や待機の場面が少なかった。	3.636
4. 児童はよく考えて学習していた。	4.182
5. 児童は動きを工夫して運動していた。	4
6. 児童の思考力を高めるためにICTの活用は有効であった。	4.182
7. 児童は主体的に学習に取り組んでいた	4.545
8. 児童は楽しく学習していた。	4.727
9. 児童は授業の約束事を守っていた。	3.909
10. 教師は児童に適切な言葉かけをしていた。	4.545

### ◎成果と▲課題

- ◎学習過程を工夫したことにより、場面展開がスムーズで、児童が見通しをもって主体的に行動できていた。特にベーシックタイムでは、素早く次の運動に切り替える児童が多く、様々な運動に取り組むことができていた。
- ◎マスタータイムやコンボタイムで友達とアドバイスをしたり組み合わせを考えたりしたことで、児童が楽しく学習している様子が見られた。
- ◎児童が各技の場でタブレットを活用して技の確認をしたり、グループ演技の映像を見たりすることで、技の練習の質や話し合いの内容が向上していたため、ICTの活用が効果的であった。
- ▲コンボタイムでは、場の数が少なかったこともあり、児童の待機時間が長くなってしまったり、児童が紙面上で組み合わせの動きを考える時間が長くなってしまったりした。今後、学校全体で教具は充分あるかの検討も必要である。
- ▲ICTを活用することができたが、後半になるにつれて児童が活用する姿が少なくなった。自分の姿と見本を比べるソフトがあるとよい。

### 授業者(亀田孝之主幹教諭)より

- ・実践しやすい技や場の提案ができた授業だったのではないかと思います。
- ・協議会での森先生のご指導から、児童自身が映っている動画を提示することの必要性を感じた。
- ・経験の浅い運動であったが、児童は楽しみながら取り組んでいた。事後アンケートの結果が楽しみである。